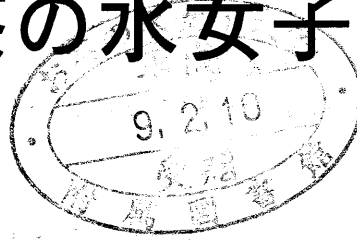


お茶の水女子大学学报



平成 9 年 1 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇学内規則	2
◎お茶の水女子大学事務連絡協議会規程	2
◎お茶の水女子大学教員の任期制問題検討 特別委員会規程	3
◇学 事	4
◎平成9年度お茶の水女子大学大学院理学部 研究科（修士課程）第2次学生募集要項	4
◇人 事	10
◇諸 報	13
◎永年勤続者表彰について	13
◎奨学金授与式について	14
◎訃 報	16
◎研 修	17
◎海外渡航	18
◎レクリエーション行事	20
◎健康診断	20
◇日 誌	21

学内規則

○平成8年お茶の水女子大学規則第34号

お茶の水女子大学事務連絡協議会規程を次のように定める。

平成8年11月29日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学事務連絡協議会規程

第1条 お茶の水女子大学に、各部局の事務連絡を緊密にし、事務の円滑かつ能率的な運営を図るため、お茶の水女子大学事務連絡協議会（以下「事務連」という。）を置く。

第2条 事務連は、次の各号に掲げる職員をもつて組織する。

- 一 事務局長
- 二 課長・入学主幹及び事務長
- 三 課長補佐及び専門員
- 四 その他事務局長が指名した専門職員

第3条 事務連は、次に掲げる事項を取扱う。

- 一 会議等の報告
- 二 事務の連絡協議
- 三 学内規程等の検討
- 四 その他必要な事項

第4条 事務連は事務局長が招集し、その議長となる。ただし、事務局長に事故あるときは庶務課長がこれに代わる。

2 事務連は、原則として毎月1回開催する。ただし、必要がある場合は、臨時に開催することができる。

第5条 各課等から事務連に提出する議案は、事務連開催日の2日前までに庶務課に提出するものとする。

第6条 事務連の事務は、庶務課において処理する。

附 則

この規程は、平成9年1月1日から施行する。

○平成8年お茶の水女子大学規則第35号

お茶の水女子大学大学教員の任期制問題検討特別委員会規程を次のように定める。

平成8年12月18日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学大学教員の任期制問題検討特別委員会規程

(設置)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)に、お茶の水女子大学大学教員の任期制問題検討特別委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学における大学教員の任期制に関し、関連する事項について、連絡調整及び調査研究することを目的とする。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 各学部から選出された教授及び助教授各1人
- 二 大学院人間文化研究科から選出された教授及び助教授各1人
- 三 ジェンダー研究センター及び生活環境研究センターから相互に選出された教授及び助教授各1人

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の事務は、庶務課において処理する。

附 則

この規程は、平成9年1月1日から施行する。

学 事

理学研究科（修士課程）第2次学生募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成9年3月卒業見込みの者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 大学3年生で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者
(ただし、化学専攻及び情報科学専攻を除く)
- (5) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学	若干名	2月4日(火) 9:20～11:20 11:30～12:30 13:30～15:30 16:30～	一般・基礎教育科目（微積分・線形代数・位相空間） 外国語（英語） 専門科目（数 学） 口述試験
物 理 学	若干名	2月4日(火) 10:00～12:30 13:30～16:00 17:30～	力学、電磁気学、物理数学（各1問、計3問） 熱・統計力学、量子力学（各1問） 選択問題（物理学の諸分野より出題した3問中から1問を選択） } 計3問 口述試験
化 学	若干名	2月4日(火) 9:30～12:00 13:00～14:30 14:45～16:45 17:30～	一般・基礎教育科目（「化学」及び「物理学」又は「生物学」※） 外国語（英語） 専門科目（化 学） 口述試験
生 物 学	若干名	2月4日(火) 10:00～12:00 13:00～15:00 15:30～	外国語（英語） 専門科目（生物学の諸分野から出題した中から4問を選択） 口述試験
情報科学	若干名 *（社会人若 千名迄）	2月4日(火) 10:00～12:00 13:00～16:00 16:30～	外国語（英語）及び一般・基礎教育科目（微積分・線形代数） 専門科目（情報科学の諸分野より出題した中から3問選択） 口述試験

※ 「物理学」又は「生物学」のうち1科目を選択すること。

* 社会人は「社会人特別選抜」募集要項による。

4. 出願期間

平成9年1月20日(月)から平成9年1月24日(金)まで。(必着のこと。)
なお、郵送する場合は、必ず書留で『大学院理学研究科入学願書』と朱書すること。

5. 出願手続

(1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
☎ 03(5978)5287~8
イ 時間 午前9時から午後3時まで

(2) 提出書類等

ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
イ 卒業(又は見込)証明書
ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
エ 調査書(本学所定の用紙)
オ 検定料 28,000 円(現金又は郵便為替)
カ 検定料納付書(本学所定の用紙)
キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、80円切手を貼った定型郵便物用封筒(長形3号)を同封すること。

6. 合格者の発表

- (1) 2月12日(水)正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示する。
合格通知書は、理学部2号館事務部で受験票を確認の上、交付する。(合格者の代理人でも差し支えない。)なお、当日、受領できない者については郵送する。
- (2) 入学手続関係書類は平成9年3月中旬に送付する。

7. 入学科及び授業料

- (1) 入 学 料 270,000円
(2) 授業料年額 469,200円

8. 注 意 事 項

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、190円切手を貼った角型2号封筒(33cm×24cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。
- (4) 官公庁に在職の者は、入学試験に合格しても、退職するか又は休職にならなければ、入学することはできない。

9. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前
地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約5分
" 有楽町線 護国寺駅(音羽口) 徒歩約5分

理学研究科（修士課程）社会人特別選抜第2次学生募集要項

1. 募集の趣旨

お茶の水女子大学の理学研究科（修士課程）では、平成6年度から情報科学専攻が設置されました。急速に進歩する情報化社会の要求に応えるため、この専攻では、企業や学校に在職のまま、あるいは家庭での仕事を続けながらも修士の学位が取得できるように、社会に出た女性のための高等教育への道をひらくこととし、ここに昼夜開講制を伴う社会人特別選抜を実施するものです。

2. 募集人員

情報科学専攻 若干名

3. 出願資格

次のいずれかに該当し、平成9年4月までに2年以上の社会経験を経た女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

4. 選抜方法及び学力検査

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書、希望する研究課題の内容等を総合して決定する。

試験日時	2月4日（火）	10:00～12:00 14:00～	外国語（英語）及び一般・基礎教育科目 （微積分・線形代数） 口述試験
------	---------	-----------------------	--

試験場所 お茶の水女子大学

5. 出願期間

平成9年1月20日（月）から平成9年1月24日（金）まで。（必着のこと。）
なお、郵送する場合は、必ず書留で『大学院理学研究科入学願書』と朱書すること。

6. 出願手続

(1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
☎ 03（5978）5287～8
イ 時間 午前9時から午後3時まで

(2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書（本学所定の用紙）
- イ 志望理由書（本学所定の用紙）
- ウ 卒業証明書
- エ 調査書（本学所定の用紙）
- オ 健康診断書（本学所定の用紙）
- カ 検定料 28,000 円（現金又は郵便為替）
- キ 検定料納付書（本学所定の用紙）
- ク 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、80円切手を貼った定型郵便物用封筒（長形3号）を同封すること。

7. 合格者の発表

- (1) 2月12日(水)正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示する。
合格通知書は、理学部2号館事務部で受験票を確認の上、交付する。(合格者の代理人でも差し支えない。)なお、当日、受領できない者については郵送する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成9年3月中旬に送付する。

8. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 270,000円
- (2) 授業料年額 469,200円

9. 注意事項

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、190円切手を貼った角型2号封筒(33cm×24cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。
- (4) 官公庁に在職の者は、入学試験に合格しても、退職するか又は休職にならないと、入学することはできない。

10. 大学所在地案内

都営バス	大塚2丁目停留所前
地下鉄	丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約5分
〃	有楽町線 護国寺駅(音羽口) 徒歩約5分

11. 昼夜開講制と教育方法の特例について

情報科学専攻では社会人を対象に大学院設置基準第14条の規定による教育方法の特例として昼夜開講制を行うこととし、その概略は次のとおりである。

修士課程の2年のうち、前半の1年間は原則として本学での履修を必要とするが、後半の1年間はスクーリングのしほりを大幅に緩和したかたちで研究指導をうけながら、修士論文を作成することになる。しかし、特別の事情のある場合は、最初の1年間も夏休みなどの活用によって、かなり柔軟な学習形態をとることもできる。

このように、指導教官の指導のもとに受講計画、研究計画について個々に柔軟に対応することができる。

理学研究科（修士課程）各専攻の研究概要

1. 数学専攻

志望区分	担当教官	主な研究分野
数 A (解析学)	教授 渡辺 ヒサ子 教授 真島 秀行 助教授 前田 ミチエ 助教授 松崎 克彦	ポテンシャル論 微分方程式論 測度論 複素解析学
数 B (代数学)	教授 藤原 正彦 助教授 榎本 陽子 助教授 横川 光司	数論 群論及び表現論 代数幾何
数 C (幾何学)	教授 小川 洋輔 教授 塚田 和美 助教授 小野 薫	微分幾何 微分幾何 微分幾何及び位相幾何

2. 物理学専攻

志望区分	担当教官	主な研究分野
理論	教授 柴田 文明 教授 太田 隆夫 教授 本晶 夫 助教授* 亀井 雅理 助教授 森川 哲博 助教授 出口 生佳 助教授 小林 功佳	非平衡統計力学、基礎的量子現象、 量子通信理論 物性理論、非平衡開放系の理論 素粒子論 物理学史 宇宙物理学 物性基礎論、可解格子模型の理論と応用 物性理論、表面物理学
実験	教授 伊藤 厚子 教授 富永 靖徳 教授 浜谷 望	ランダム磁性体の静的・動的構造及び相転移 誘電体・水溶液系のラマン分光と誘電分散 極限条件下の物質構造と相転移

* 本年度生の研究指導は行わない。

3. 化学専攻

志望区分	担当教官	主な研究分野
化 A (物理化学)	教授 平野 恒夫 助教授 今野 美智子 助教授 堀野 佳也子 助教授 鷹野 景子	分子の構造、反応性に関する量子化学 生体物質の結晶構造及び反応機構の研究 液晶相形成物質の構造と性質に関する研究 分子の電子構造と化学反応の機構
化 B (無機化学)	教授 福田 豊 教授 益田 祐一	機能性錯体の合成と反応に関する研究 溶液内の局所構造とそのダイナミックス
化 C (有機化学)	教授 永野 肇二 助教授 山田 眞	天然物有機化学—主としてテルペン類の合成研究 新規有機合成反応の開拓
化 D (生物化学)	教授 松本 勲武 助教授 小川 温子	動植物レクチンの構造と機能に関する研究 複合糖質の構造と機能に関する研究
化 E (分析化学)	教授* 富田 功 教授 藤枝 修子	分析化学的に興味のある化学反応 特にイオン交換反応の研究 非線形化学現象の計測に関する 分析化学的研究

* 本年度生の研究指導は行わない。

4. 生物学専攻

担当教官	主な研究分野
教授*清水 碩	植物の老化、クロロフィルの代謝
教授石和 貞	ショウジョウバエを主とした進化遺伝学、分子遺伝学
教授馬場 昭	繊毛運動の生理学
教授山下 貴	単子葉植物の発生と系統
教授芦原 坦	高等植物の代謝制御機構の解析
教授根本 心	棘皮動物を主とした卵成熟と発生機構
教授室伏 子	真核細胞の生化学、細胞増殖制御
教授松浦 悦	核外遺伝子系の複製と発現の制御機構
助教授林 正	高等動物の細胞生物学、遺伝子発現制御、ビトロネクチン
助教授最 上	生体運動の制御機構
講師清 本	海産無脊椎動物の個体発生における形態形成と細胞分化 (主に臨海実験所で研究)
講師作田 正 明	植物培養細胞における二次代謝調節

* 本年度生の研究指導は行わない。
(注) 生活環境センター教官の指導を受けることができる。なお、このことについては生物学科主任に問い合わせること。

5. 情報科学専攻

志望区分	担当教官	主な研究分野
情報数理	教授 笠原 勇 二	確率論 情報解析学・作用素論 応用解析学・作用素環論 離散数学・文書処理系
	教授 竹尾 富貴子	
	助教授 吉田 裕 亮	
	助教授 浅本 紀 子	
情報処理	教授 細矢 治 夫	グラフ理論の化学への応用・情報化学 計算物理学・数値処理 数値流体力学・数値シミュレーション 計算化学・並列分散処理・ニューラルネットワーク コンピュータグラフィックス・データベース ヒューマンインターフェイス・オペレーティングシステム
	教授 佐藤 浩 哲	
	教授 河村 嶋 兵	
	教授 長嶋 雲 一	
	助教授 藤代 成	
	助教授 粕川 正 充	

人 事

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 採 用			
8. 12. 2	香西みどり	助 手 (生活科学部)	
◇ 併 任			
8. 11. 1	大口勇次郎	附属図書館長・評議員 併任期間 平成10年10月31日	(文教育学部教授)
◇ 退 職			
8. 12. 1	根 本 信 乃	辞 職	助手 (生活科学部)

◎ 外国人特別招へい教授

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 契 約				
8. 11. 15	マリット・ヘルン・E	大学院人文科学研究科	9. 2. 14	

◎ 非常勤職員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
8. 11. 1	吉本千恵子	事務補佐員 (附属図書館)	9. 3. 31	
"	長戸千恵子	" (文教育学部)	"	
"	難波恭子	教務補佐員 (生活科学部)	"	
8. 11. 15	高橋久美子	"	"	
"	齋藤厚子	ティーチング・アシスタント (文教育学部)	9. 2. 28	
"	加藤幸子	"	"	
"	岸野雅子	"	"	
"	吉原ゆき	"	"	
"	佐藤文恵	"	"	
"	田中木美穂	"	"	
"	佐村安幾	"	"	
"	杉村安幾	"	"	
"	岩槻藤礼	"	"	
"	佐藤瑞亮	"	"	
"	齋藤本出	"	"	
"	井平友子	"	"	
"	渡辺恭子	"	"	
"	福田千絵	"	"	
"	猪狩美保	" (大学院人文科学研究科)	"	
"	大井智子	"	"	
8. 11. 18	白石石宮	" (文教育学部)	"	
8. 12. 1	大森由紀	" (大学院人間文化研究科)	"	
"	梅林郁子	"	"	
"	西條美紀	"	"	
"	上野都ゆり	"	"	
"	高木友子	"	"	
"	中島桂子	"	"	
"	江野真紀	"	"	
"	中野朝子	"	"	
"	穴山道子	"	"	
"	菅田雅子	"	"	
"	太田神玲子	"	"	
"	薬師上真子	"	"	
"	山坂美穂	"	"	
"	藤原あい子	"	"	
"	佐藤真理子	"	"	
"	保崎菜摘	"	"	
"	園田並美	"	"	
"	野並美紀	"	"	
"	三宅留子	"	"	
"	澤田美子	"	"	
"	若宮弘	"	"	
◇ 任用更新				
8. 11. 1	宮之原恵子	事務補佐員 (学生課)	9. 3. 31	

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 退 職				
8. 11. 6	立 花 郁 子	教務補佐員 (ジェンダー研究センター)		
8. 11. 30	山 田 美 絵	" (生活科学部)		
"	香 西 み どり	" "		
8. 12. 31	小 屋 慶 子	事務補佐員		
"	小 島 優	教務補佐員 (ジェンダー研究センター)		

◎非常勤講師

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
◇ 採 用				
8. 11. 1	佐 藤 正 英 夫	講 師 (文教育学部)	9. 3. 31	共立女子大学教授
"	清 水 都 夫	" (理 学 部)	"	上 智 大 学 教 授
"	山 田 泰 教	" "	"	
8. 11. 11	家 永 香 織	講師 (研究機関研究員) (生活環境研究センター)	"	
"	リ ン ナ ン	講 師 (附属高等学校)	"	
8. 11. 12	根 村 直 美	講師 (研究機関研究員) (ジェンダー研究センター)	"	
8. 11. 20	中 澤 弥 子	" " (生活環境研究センター)	"	
8. 12. 1	岡 秀 一	講 師 (文教育学部)	"	東京都立大学助教授
"	松 浦 克 美	" (理 学 部)	"	東京都立大学助教授
"	川 原 ゆ かり	講師 (研究機関研究員) (ジェンダー研究センター)	"	
◇ 併 任				
8. 11. 1	郷 通 子	講 師 (理 学 部)	9. 3. 31	名古屋大学教授
"	平 井 篤 志	" "	"	東京大学教授
"	中 條 和 光	" (大学院人文科学研究科)	"	福井大学助教授
8. 12. 1	田 中 貴 浩	" (理 学 部)	"	大阪大学助手
8. 12. 20	藤 原 良 叔	" "	"	筑波大学教授
8. 12. 24	渡 部 洋	" (文教育学部)	"	東京大 学 教 授

諸 報

○永年勤続者表彰について

平成8年度永年勤続者表彰式が平成8年11月22日大学会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

理 学 部	富 田 功
”	竹 尾 富貴子
”	今 野 美智子
”	林 正 男
ジェンダー研究センター	館 かおる
庶 務 課	清 水 孝 一
会 計 課	柴 田 正 造
”	西 原 敏 雄
”	富 山 弘
施 設 課	斉 藤 正 広
学 務 課	渋 木 正 巳
附 属 図 書 館	猿 丸 万喜子



○奨学金授与式について

平成8年度奨学金授与式が11月19日（火）大学会議室（生活科学部本館2階）で行われた。

奨学金受奨者

*保井・黒田奨学金受奨者（1名）

第53号 本間裕子

研究題目「代数曲面論、特に線織曲面および有理曲面の研究」

*被服学奨学金受奨者（1名）

第55号 平井見和

研究題目「芳香族大環状化合物金属錯体と生体物質との相互作用」

*食物学奨学金受奨者（3名）

第54号 清瀬千佳子

研究題目「 α -トコフェロール立体異性体の生体内での識別とその機構の解明」

第55号 早川文代

研究題目「食に関する感覚用語の客観化」

第56号 根本信乃

研究題目「細胞増殖の制御に及ぼすアスコルビン酸の効果」

*家庭経営学奨学金受奨者（2名）

第41号 大塚洋子

研究題目「女性教員のライフコース」

—家族経歴と職業経歴の関わりから—

第42号 古谷恵子

研究題目「女高師戦争末期卒教員のライフコース」

—昭和18~20年卒業コーホートを対象として—

*人間文化研究科奨学金受奨者（3名）

第21号 三宅紀子（人間文化研究科人間環境学専攻3年）

研究題目「アスコルビン酸の自動酸化機構」

第22号 山主智子（人間文化研究科人間環境学専攻3年）

研究題目「Study on carotenoid function -focusing on mobilization and chemoprevention of pulmonary tumorigenesis induced by diesel exhaust particles-」

（カロテノイドの作用に関する研究

—動態とディーゼル微粒子により誘導された肺がんの予防に焦点をあてて—）

第23号 澤田留美(人間文化研究科人間環境学専攻3年)
研究題目「n-6系、n-3系多価不飽和脂肪酸代謝に及ぼすセサミンの生理作用に関する研究」

*池田摩耶子記念奨学金受賞者(4名)

第34号 劉麟玉(人間文化研究科比較文化学専攻3年)
研究題目「台湾におけるピアノ音楽の受容と変遷」

第35号 郭末任(人文科学研究科日本語文化専攻2年)
研究題目「日本語学習者の会話に挿入されるあいづち」
-日韓対照研究-

第36号 李菱(理学研究科物理学専攻2年)
研究題目「メスバウア分光による酸化物の磁性の研究」

第37号 崔美花(家政学研究科食物学専攻2年)
研究題目「消化管粘膜組織に分布するスフィンゴ糖脂の比較生化学的研究」

*池田重記念奨学金受賞者(1名)

第8号 方美麗(人間文化研究科比較文化学専攻3年)
研究題目「物名詞と動詞の連語」
-日中対照研究-

*平成8年度外国人留学生奨学助成金受賞者

田禾(中国)

謝夢雨(中国)

薄乃健(中国)

朱紅(中国)

○訃 報

松 元 文 子 名 譽 教 授

松元 文子氏は老衰のため平成8年12月9日逝去されました。享年90才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、生前の功績により従三位に叙されました。

生年月日	明治39年11月21日生
略 歴	昭和4年 東京女子高等師範学校家事科卒業
	昭和4年3月 静岡県立沼津高等女子校教諭
	昭和6年4月 東京府立第六高等女学校教諭
	昭和15年3月 宮城県女子専門学校教授
	昭和17年7月 東京女子高等師範学校講師
	昭和20年7月 東京女子高等師範学校教授
	昭和25年7月 お茶の水女子大学助教授
	昭和31年10月 お茶の水女子大学教授
	昭和47年3月 お茶の水女子大学停年退職
	昭和47年5月 お茶の水女子大学名誉教授
	平成8年12月 逝去

研究業績 昭和24年にお茶の水女子大学の発足と同時に家政学部食物学科調理学講座を担当した。それまで未開拓の分野であった調理学の研究教育の基礎を築き、調理学の方向を示した。昭和43年に現在の日本調理科学会の前身である調理科学研究委員会を創設、初代会長として調理科学の発展に尽力した。その他学内においては家政学部長、学外においては日本家政学会会長、桜蔭会会長、文部省視学委員、中央産業教育審議会専門委員、学術審議会専門委員などを歴任した。

論文等 小麦粉の調理に関する研究（学会賞受賞記念論文）昭和44年、家政学雑誌
いか肉の新しい利用法（第1報）、家政学雑誌第7巻、111（1956）
油脂の調理に関する研究（第1報）、家政学雑誌第8巻、47（1957）
米粉調理に関する研究 家政学雑誌第13巻、311（1962）
ほか多数

著書等 『全訂、調理実験』 柴田書店
『調理と水』 家政教育社
『調理学』 光生館
『調理のための食品成分表』 柴田書店
など

○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成8年度国立学校等課長補佐級研修	平成8年 10月29日～ 11月1日	新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐及び専門員（職制定数上の専門員）に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	庶務課課長補佐 中島 武幸 会計課課長補佐 加藤 久雄	文部省及び 東京大学
平成8年度六大学等事務系中堅職員研修 （東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、東京商船大学、東京水産大学、お茶の水女子大学及び学術情報センター）	平成8年 11月13日～ 11月15日	六大学等の職員で、実施時期にⅢ種採用でおおむね8年の経験、Ⅱ種採用でおおむね3年の経験を有する事務系職員（行政職俸給表（一）の適用者に限る）	庶務課・附属学校係 濱村 知枝 学生課・専門職員付 和田 東子 附属図書館・情報システム係 篠原千亜紀 文教育学部・総務係 芳村 紀子 理学部・総務係 濱崎 貴子	東京水産大学
平成8年度六大学等監督者研修（JST基本コース） （東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、東京商船大学、東京水産大学、お茶の水女子大学及び学術情報センター）	平成8年 11月12日 11月14日 11月19日	原則として55歳以下の専門職員及び係長	学生課・就職保健係長 和賀 由子 入学主幹付・入学試験係長 田沼 行文	東京外国語大学
平成8年度留学生担当者研修	平成8年 11月20日～ 11月22日	国公立大学、高等専門学校及び専修学校の留学生関係事務担当者で原則として留学生担当業務が2年未満の者	学務課・留学生係 脇 紀夫	文 部 省
第64回関東地区中堅係員研修	平成8年 12月2日～ 12月6日	ア 国家公務員採用Ⅲ種試験により採用され、採用後おおむね8年の経験を有する者及び国家公務員採用Ⅱ種試験により採用され、採用後おおむね3年の経験を有する者 イ 本年度4月1日現在30歳未満の者 ウ 勤務成績が優秀な者	庶務課・附属学校係 丸山 彰英	人事院関東事務局
平成8年度人事事務研修	平成8年 12月4日～ 12月13日	ア 人事事務を3年以上担当している主任又は一般係員 イ 行政職（一）2級以上の者 ウ 原則として年齢25歳以上35歳以下で、この研修の未受講者 エ 勤務成績が優秀な者	庶務課・人事係 今井千恵子	文 部 省

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
生活科学部・教授	田中辰明	ドイツ連邦共和国	ドイツ連邦共和国暖房・空調・衛生学会主催のハノーバー国際建築設備会議で論文発表	8.11.2～ 8.11.12	外国出張
生活環境研究センター・教授	五十嵐 脩	スペイン	「栄養と疾病予防における高度不飽和脂肪酸の機能」に関する国際会議に出席し、座長及びポストの発表	8.11.2～ 8.11.13	海外研修
理学部・教授	伊藤厚子	アメリカ合衆国	ワークショップ「コンプレックスな系におけるエイジング現象」に出席し講演	8.11.4～ 8.11.11	外国出張
理学部・教授	太田隆夫	”	「相転移のダイナミクス」に関する共同研究	8.11.8～ 9.1.28 (帰国予定)	外国出張
生活科学部・教授	袖井孝子	フランス共和国	OECDハイレベル会議出席	8.11.9～ 8.11.15	外国出張
文教育学部・教授	徳丸吉彦	フランス共和国 イタリア共和国	学会（音楽意味論）出席及び資料収集	8.11.12～ 8.11.18	海外研修
理学部・教授	長嶋雲兵	アメリカ合衆国	Super Computing '96 出席と国立大気環境研究所における研究打合せ	8.11.15～ 8.11.27	外国出張
理学部・教授	笠原勇二	台湾	国際研究集会「解析学と確率論」にて研究発表（招待講演）	8.11.17～ 8.11.23	外国出張
ジェンダー研究センター・教授	原ひろ子	タイ王国	国際ボランティア貯金の寄附金配分援助事業の調査	8.11.21～ 8.11.26	外国出張
ジェンダー研究センター・教授	原ひろ子	フィリピン共和国	米国プリンマー大学同窓会セミナーに出席、又来年度日本にて行なう米国プリンマー大学同窓会セミナーの打ち合わせ及びフィリピンの女性学・ジェンダー研究者との交流	8.11.26～ 8.12.2	海外研修
人間文化研究科・助手	吉川裕美子	ドイツ連邦共和国	ドイツにおける学術研究体制の調査研究	8.12.1～ 8.12.16	外国出張
事務局長	北根康志	中華人民共和国	中国教育事業調査団として派遣	8.12.3～ 8.12.12	外国出張

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
生活環境研究センター・教授	五十嵐 脩	大韓民国	韓国栄養食糧学会での基調講演	8.12.6～ 8.12.8	海外研修
生活環境研究センター・教授	倉田 忠男	”	Chunchon市、Kangwon 国立大学で開催される韓国栄養食品科学会のシンポジウムで講演	8.12.6～ 8.12.8	海外研修
理学部・教授	福田 豊	中華人民共和国	ユーラシア大陸各国化学学会から各分野の研究者が一堂に会し研究交流を行う国際会議の招待講演者として研究成果を紹介	8.12.8～ 8.12.15	外国出張
理学部・教授	細矢 治夫	”	第5回化学欧亚国際会議	8.12.8～ 8.12.15	海外研修
理学部・助教授	森川 雅博	アメリカ合衆国	国際会議 “18th Texas Symposium on Relativistic Astrophysics” 参加・研究発表	8.12.13～ 8.12.22	外国出張
文教育学部・教授	小風 秀雅	香 港	香港所在歴史史料並びに香港政庁文書の調査及び収集	8.12.25～ 8.12.30	海外研修

○レクリエーション行事

行事名	実施日時	参加者数	内容・入賞者	実施場所
平成8年度 職員ソフトボール大会	平成8年 12月2日、3日 (両日とも昼休 み)	71人	優勝 会計課・附属図書館Aチーム 準優勝 施設課・学生部・人間文化研究 科チーム 第3位 会計課・附属図書館Bチーム	大学グラウンド

○健康診断

事項	実施日時	対象者	受診者数	実施場所
遠隔地勤務者健康診断	平成8年 11月6日 11月13日	理学部附属臨海実験所及び館山 野外教育施設勤務者並びに志賀高 原体育運動場勤務者。ただし、人 間ドック受診者を除く。	6人	千葉県館山保健所 長野県中野保健所
職員定期健康診断(第2回)	平成8年 11月26日	第1回に受診できなかった者。 ただし、人間ドック受診者及び遠 隔地勤務者を除く。	14人	保健管理センター
V D T 検 診	平成8年 12月20日	VDT(コンピュータの端末装 置、パソコン、ワープロ等)作業 従事職員で、特に必要と認めた者。	44人	本部棟第二会議室

日 誌

◇諸会議

- 11月1日(金) 国立大学等と産業界等との研究協力に係る事務説明会(於・東京大学)
- 5日(火) 学生委員会
- 6日(水) ジェンダー研究センター運営委員会
施設計画委員会(小委員会)
- 7日(木) 関東・甲信越地区管理事務協議会
(～8日、於・山梨医大)
大学入試センター試験担当課長会議
(於・武蔵工業大)
- 11日(月) カリキュラム委員会
- 12日(火) 教職員生涯生活設計担当者研修会
(於・オリセン)
附属学校長候補者選考委員会
- 13日(水) 文教育学部学部に施設計画委員会
六大学等事務系中堅職員研修(～15日、於・東京水産大)
国立大学協会総会(～14日、於・学士会館)
施設計画委員会(小委員会)
- 15日(金) 国立大学協会事務連絡会議(於・学士会館)
厚生補導担当教職員研究協議会(～16日、於・共済組合かすみ荘)
- 18日(月) 紀要(自然科学報告)編集委員会
- 19日(火) 部局長会議
主任会議(3学部)
- 20日(水) 教授会
文教育学部大学院前期課程連絡委員会
理学部大学院問題検討委員会
- 21日(木) 施設計画委員会(小委員会)
- 26日(火) 附属学校長選考委員会
部局長会議
- 27日(水) 創立120周年記念募金事業後援会役員会
学芸員課程委員会
評議会
文教育学部教務関係事項検討委員会
研究科会議
附属学校教育研究委員会
- 28日(木) 教官総覧作成委員会
共通機器センター運営委員会
国立学校等安全管理協議会(～29日、於・東京水産大)

- 関東甲信越地区施設担当職員研修交流会(Aブロック)
- 29日(金) サークルリーダーズ研修
事務連絡会議
- 12月2日(月) 関東地区中堅係員研修(～6日、於・合同庁舎3)
- 3日(火) 入試委員会
拡大主任会議(文)
図書館協議会東京地区事務連絡会
(於・東京大学)
- 4日(水) 文部省人事事務研修(～13日、於・オリセン)
施設計画委員会(小委員会)
- 5日(木) ATM委員会
- 6日(金) 公開講座委員会
学生委員会
カリキュラム委員会
- 9日(月) 生活科学部カリキュラム小委員会
入学者選抜方法研究委員会
- 10日(火) ジェンダー研究センター運営委員会
部局長会議
主任会議(3学部)
- 11日(水) 国立大学附属図書館協議会(～12日、於・千葉大学)
教授会
臨時評議会
- 12日(木) メンタルヘルス研究協議会(～13日、於・虎の門ホール)
教官総覧委員会
- 17日(火) 大学入試センター試験協議会(於・虎の門ホール)
部局長会議
創立120周年記念事業特別委員会
カリキュラム委員会総合コース小委員会
- 18日(水) 入学者選抜方法研究委員会
評議会
研究科会議
大学院問題検討特別委員会小委員会
- 19日(木) 官公需問題懇談会(於・中央区立中央会館)
理学部PR委員会
施設計画委員会(小委員会)
教育実習専門委員会
- 20日(金) 事務連絡会議

附属学校教育研究委員会
歳出予算繰越事務説明会（於・合同
庁舎3）

◇行事等

- 11月1日（金）推薦入学願書受付（～7日）
2日（土）附属幼稚園創立120周年記念式典
公開講座
9日（土）德音祭（～10日）
12日（火）外国人留学生健康診断
13日（水）附属幼稚園願書受付
生活科学部編入学試験
15日（金）文教育学部編入学試験願書受付（～
21日）
消防行政協力者に対する表彰式（於
・小石川消防署）
19日（火）平成8年度奨学金授与式
20日（水）附属高等学校防災訓練
学長候補者選挙（第1次）
学長表彰式
22日（金）附属小学校願書受付
永年勤続者表彰式
25日（月）給与簿監査（人事院関東事務局）
26日（火）第2次職員一般定期健康診断
29日（金）文教育学部第3年次編入学第一次試
験
生活科学部推薦入学第2次選考
12月2日（月）職員ソフトボール大会（～3日）
理学部推薦入学・帰国子女第2次選
考
4日（水）生活科学部第3年次編入学第二次試
験
10日（火）文教育学部第3年次編入学第二次試
験
11日（水）学長候補者選挙（第2次）
12日（木）第3年次編入学合格発表（文教・生
活）
推薦入学・帰国子女合格発表
20日（金）VDT検診
24日（火）平成9年度予算政府案の伝達（於・
医科歯科大）
25日（水）推薦入学・帰国子女入学合格者入学
手続き（～26日）
27日（金）御用納め